

理念経営実践レポート

2024-

2025



経営方針

経営理念

一番大切な人に届けたい“本物”をつくる。
（“本物”づくりの心）

仕事を通して人生の幸福を追求する。
（ひとづくりの心）

地域社会の豊かさづくりに貢献する。
（地域づくりの心）

社は“三つの誠実”

【その一】
お客様、お取引先様から信頼される“誠実な企業”

【その二】
地域社会から信頼される“誠実な企業”

【その三】
従業員から信頼される“誠実な企業”

社訓“自立、自律、信用”

経済の“自立” 「貢献と処遇の原則」の下で、
自分や家族を養えること。

意思の“自律” 「経営理念」の下で、自ら考え、
正しい行動ができること。

“信用” 誠実で正しい行動を通して、
互いに信頼し合えること。

行動指針

1. 良い製品とサービスはお客様への愛情から生まれる。
2. 法令・社会規範を学び、遵守する。
3. 嘘をつかない、真実の報告をする。
4. “笑顔”と“あいさつ”で明るい職場をつくる。
5. “現場主義”の徹底で風通しのよい職場をつくる。
6. 全ての取引先と公正・透明な取引を行う。
7. 知識・技術・経験の共有で強い組織をつくる。
8. 省エネ・廃棄物削減の知恵と工夫で環境を守る。

ごあいさつ

私たちマスヤ／IXグループは、日本人の心のふるさと伊勢の地で、創業60年目を迎えました。ロングセラー製品の「おにぎりせんべい」や全国新酒鑑評会で金賞受賞の「清酒おかげさま」などの製造・販売に加え、2023年1月に持ち株会社の社名変更と共にスタートした「伊勢志摩(I)をトランスフォーム(X)するリージョナルホールディンググループ」という新しいCIの下で、三重県伊勢志摩地域において介護事業、ホテル事業、プライダル事業、観光事業、飲食事業、情報通信事業など様々な事業展開を行っております。マスヤ／IXグループでは、「経営理念」「社是」「社訓」「行動指針」に基づく理念経営を進めており、この報告書は、お客様、お取引先様をはじめ日頃お世話になっております関係者の皆様に、私どものこの一年間の活動の様子をお伝えするために毎年作成しているものです。ご高覧いただければ幸いです。どうか今後とも私どもマスヤ／IXグループにご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

2024年11月
IXホールディングス株式会社
（旧社名：株式会社マスヤグループ本社）
代表取締役社長 浜田 吉司

SDGs 全17項目一覧



事業のご紹介

IXホールディングス株式会社 グループ持株会社 (旧社名:株式会社マサグループ本社)

【ミッション】マサグループとIXグループの総合的な企業価値と経営品質の向上を目指します。

【役員構成】代表取締役社長 浜田 吉司 常務取締役 西田 宏治 執行役員 神山 大輔
取締役(社外) 齋藤 毅文

【本 社】〒 519-0502 三重県伊勢市小俣町相合1306

【事業内容】マサグループとIXグループの持株会社として、理念経営の実践を推進しています。



株式会社 マサヤ 米菓製造・販売

【ミッション】みんなが幸せになれる会社をつくりましょう。

【役員構成】取締役会長 浜田 吉司 常務取締役 山本 豊
代表取締役社長 森 紀之 常務取締役 岩城 通
取締役 伊賀 直広
取締役(社外) 鳥越 敬

【本 社】〒 519-0594 三重県伊勢市小俣町相合1306

【事業内容】ロングセラー商品『おにぎりせんべい』『ピケイト』などの米菓製品を、東京、名古屋、大阪、福岡の営業拠点を通して全国に販売しております。親から子、そして孫にも愛される商品をお客様の期待に応えられるよう作り続けていくことと、『お菓子の楽しさ』をどんどん発信しお客様に絶えずワクワクドキドキしていただけるような、他社に真似のできない新しい菓子ビジネスの確立に取り組んでいます。



株式会社 日乃本米菓製造 米菓製造・販売

【ミッション】お客様の心に響く“おいしさ”と“なつかしさ”を提供し続けます。

【役員構成】代表取締役社長 紙野 康久 取締役 浜田 吉司
取締役 伊賀 直広

【本社・工場直売店】〒 311-0111 茨城県那珂市後台1487-8

【事業内容】1世帯あたりの米菓購入額が全国トップクラスの茨城県において、『杵もち揚』などの「あられ・おかき」を製造し、主に日乃本の営業網を通して販売しており、特に関東地区でご好評をいただいております。また工場には直売店を併設し、“ぬくもり”のある“なつかしい”安らぎをお届けできる「あられ・おかき」をご提供しております。これからも「あられ・おかき」を通して、日本の伝統的な食文化の発展と向上に努めてまいります。



株式会社 伊勢萬 酒類製造・販売

【ミッション】お客様と共に ココロオドル 最高の商品とサービスを。

【役員構成】代表取締役社長 小林 大介 取締役会長 村田 光晴
取締役(社外) 木元 秀典

【本社・伊勢蒸留所】〒 519-0501 三重県伊勢市小俣町明野576-13

【内宮前酒造場】〒 516-0025 三重県伊勢市宇治中之切町77-2

【事業内容】おかげ横丁の内宮前酒造場で、清流五十鈴川の伏流水を用いた清酒『おかげさま』を醸造し伊勢志摩地区限定で販売しています。また伊勢蒸留所ではクラフトウイスキー『神路』、焼酎『光年』や『ステラ』、クラフトジン『伊勢神』、リキュール『ステラハーブムーン(柚子/梅しそ)』等、こだわりの酒類を製造し伊勢から全国に向けて販売しています。



株式会社 伊勢萬トレーディング 物販・海外事業

【ミッション】伊勢志摩の魅力の世界に拡げる素敵な会社になります。

【役員構成】代表取締役社長 溝口 武 取締役相談役 中山 育之

【本 社】〒 516-0024 三重県伊勢市宇治今在家町24

【神久倉庫】〒 516-0017 三重県伊勢市神久2丁目2-31

【事業内容】伊勢おほらい町に本部のある店舗運営部で「まるごと果汁店」「伊勢プリンの鉄人」「おかげ横丁・銭屋」を運営し、多気町の大規模商業施設VISIONにも出店しています。伊勢志摩土産として『漁師あられ』『みたらし花子』『イセ野カツオ』等も扱っています。また、グループの商社部門として『おにぎりせんべい』『ハーブムーン』等グループ製品の海外輸出、地球にやさしい「THE EARTH CREW」ブランドのエコ製品群の輸入、東南アジアで自社ブランドのFC展開を推進しています。



株式会社 エムケイ・コーポレーション 高齢者生活支援サービス

【ミッション】地域の人たちが笑顔でイキイキと過ごせる社会を創ります。

【役員構成】代表取締役社長 平林 勇二 取締役 浜田 吉司

【本 社】〒 519-0506 三重県伊勢市小俣町湯田44

【事業内容】「ポピー」の愛称で地域の皆様に親しまれている在宅支援事業者です。介護保険事業では、訪問介護(2事業所)・デイサービス(中規模型と小規模型の2種)・居宅介護支援の3事業、保険外事業では、配食サービス・保険代理店・従業員食堂の運営・ユニバーサルデザインの福祉用具販売の事業を展開しております。



株式会社 志摩地中海村 レストラン・宿泊業

【ミッション】おもてなしの心と笑顔があふれる「村」を作ります。

【役員構成】代表取締役社長 大西 晶 取締役 浜田 吉司
取締役 西田 宏治

【本 社】〒 517-0403 三重県志摩市浜島町迫子2619-1

【事業内容】志摩半島の豊かな自然の中にたたずむ地中海の街並み。広い敷地内にはヴィラスタイルの客室・レストラン・カフェ・ショップをはじめ、クルージング・フィッシング・クラフト工房があり、異国情緒漂う雰囲気を満喫していただけます。2018年春に客室・レストラン・バンケット・温浴施設を増築し、また、横山天空カフェテラスでは、とっておきの場所で楽しむカフェ、ミラドール志摩を運営しております。新たな顧客価値創造に取り組んでいます。



オレンジ株式会社 ブライダル・フォト・パーティー・カフェ

【ミッション】五十鈴川駅前を「通り過ぎる場所」から「人々が交流する場所」へ。

【役員構成】代表取締役社長 小河 満美子 取締役相談役 浜田 吉司

【本 社】〒 516-0028 三重県伊勢市中村町355-1

【事業内容】ザ・オレンジガーデン五十鈴川はウエディングをはじめとして、お客様に「特別な一日」をお過ごしいただくための複合施設です。〈オレンジグリーンガーデン〉〈オレンジ五十鈴川テラス〉のふたつのハウスウエディング会場と、神前挙式が叶う〈賀寿殿〉、地域の方々にも気軽にご利用いただける〈オレンジカフェウッド〉の4つのエリアで成り立っています。「一番大切な人に贈りたい特別な一日をつくる」その想いを胸に、心を込めてお手伝いいたします。



株式会社 伊勢志摩ツーリズム 旅行業

【ミッション】“伊勢志摩”の地域の魅力を磨き上げ、世界中から評価される観光地とし、この地域の発展に貢献する。

【役員構成】代表取締役社長 西田 宏治 取締役 浜田 吉司

【本 社】〒 517-0502 三重県志摩市阿児町神明752-21

【事業内容】伊勢志摩ツーリズムは、古来「伊勢志摩」が守り続けてきた価値＝「日本らしさ」を旅の形で提案し、世界中のできるだけ多くの旅人に、その素晴らしさを知ってもらいたい、そして体験し、感じてもらいたいと願っています。伊勢志摩や三重を中心とした旅のコンシェルジュとして、お客様が特別な旅時間を過ごすお手伝いを致します。

IXデジタル株式会社 情報通信事業

【ミッション】地域の未来をデジタルの力で共に創る。

【役員構成】代表取締役社長 神山 大輔 取締役 浜田 吉司

【本 社】〒 519-0502 三重県伊勢市小俣町相合1306

【事業内容】デジタル技術を駆使し、地域企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を総合的に支援します。IoTやVRなど最先端技術を活用し、効率的な業務プロセスの構築や新しいビジネスモデルの創出をサポートします。また、様々な企業とのオープンイノベーションを推進し、地域を超えた協力関係を築きながら革新を促進します。地域との連携を重視し、デジタル化による地域活性化を目指すとともに、多様な産業へのソリューション提供を通じて、持続可能な未来を共に築いていきます。

1 Corporate philosophy

“本物”づくり 一番大切な人に届けたい“本物”をつくる。

■ウイスキー『神路』が世界最高峰のIWSC2024で最高金賞を受賞



IWSC2024 最高金賞受賞

1969年に創設され、世界の酒類コンペティションの中で最も歴史と権威があるとされる品評会「インターナショナル・ワイン・アンド・スピリッツ・コンペティション(IWSC2024)」で、伊勢萬の『ブレンドウイスキー神路』がGold Outstanding(最高金賞)を受賞しました。IWSCは、かつてサントリーの『山崎』などのジャパニーズウイスキーが世界的に注目されるきっかけになったとされる世界最高峰の品評会。そのワールドワイドウイスキー部門で部門最高点(98点)を獲得し、伊勢萬が蒸留酒の分野で長年培ってきた樽熟成のノウハウとブレンド技術の高さが証明されました。また同じく世界三大コンペティションの1つ「インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ(ISC2024)」でも『神路』は2022年に続き二度目の金賞を受賞しています。



(株)伊勢萬



ブレンドウイスキー神路 IWSCメダル

■清酒『おかげさま大吟醸』Kura Master 2024でプラチナ賞受賞



Kura Master 2024 受賞

フランス・パリで開催された「Kura Master 2024」で、伊勢萬『おかげさま大吟醸』がプラチナ賞を受賞しました。「Kura Master」は、フランス国家が最高職人の資格を証明するM.O.F(Meilleur Ouvrier de France)の保有者をはじめ、フランスの一流ホテルのトップソムリエやバーマンなど、フランス人を中心としたヨーロッパの飲食業界のプロフェッショナルが審査員を務めるコンクールです。

また、こうした栄誉を背景に、『おかげさま純米大吟醸』がヨーロッパを代表するラグジュアリースキーリゾートであるスイス・グシュタードの複数のホテルでワインリストに掲載されました。国内の小売価格のおよそ10倍という高額な価格設定になっていますが、銘醸シャトーのワインに引けを取らないJapanese Sakeの代表銘柄の一つとして『おかげさま』の繊細で華やかな味がヨーロッパの富裕層から評価を受けています。なお、「Kura Master 2024」では『おかげさま にごり梅』も二年連続となる金賞を受賞しました。



(株)伊勢萬

■清酒『おかげさま大吟醸』名古屋国税局酒類鑑評会で局長賞受賞



おかげさま大吟醸 局長賞受賞

令和6年度名古屋国税局酒類鑑評会の吟醸酒部門で、『おかげさま大吟醸』が局長賞を受賞しました。この鑑評会は酒類の品質向上を目的に毎年秋に開催され、名古屋国税局管内の愛知、岐阜、三重、静岡の酒蔵が出品をしています。局長賞はその年のもっともすぐれた酒に送られる賞であり、『おかげさま大吟醸』の品質が東海四県の中で最高であることが認められました。これからも最高の一杯をお届けできるよう努めて参ります。



(株)伊勢萬

■クラフトジン『伊勢神』第69回ジャパン・フード・セレクションで受賞



受賞の報告に伊勢市長表敬訪問

2023年11月、伊勢萬のクラフトジン『伊勢神』が、「第69回ジャパン・フード・セレクション」において最高評価であるグランプリを受賞しました。日本人に馴染みの深いポタニカルを使用し、口あたりまろやかなスッキリとした飲み口で、ジャパニーズジンのポテンシャルを十分に発揮していると高く評価いただきました。「ジャパン・フード・セレクション」は一般社団法人日本フードアナリスト協会が主催する日本初の食品・食材評価制度で、約23,000人のフードアナリスト(食の情報と発信の専門家資格)による、日本人の繊細な味覚・嗜好性・感性・食文化に配慮した評価で審査が行われます。同制度におけるグループ製品のグランプリ獲得は、2023年9月のマサヤ『おにぎりせんべい・銀しやり』に続き二回目となります。



(株)伊勢萬

■「DXセレクション2024」優良事例として表彰



DXセレクション2024 表彰

マサヤ/IXグループのDX(デジタル・トランスフォーメーション)に関する取り組みが、経済産業省「DXセレクション2024」の優良事例に選定されました。2024年3月19日に経済産業省の講堂で行われた表彰式にグループCIOの神山太輔が出席し、表彰状を授与されました。今回表彰理由とされたのは、三重県が主導するオープンイノベーションの枠組みを活かしてフューチャースタンド社(本社:東京)と共に開発を進めてきた『マサヤメソッド』です。マサヤの生産現場では、センサーを介して情報を見る化したり、i-Reporterを活用して日々の生産日報を電子化したりすることで生産性向上、ロスの削減に大きな実績を挙げることができました。また、slackなどのデジタルツールを活用して情報の共有が円滑になり、職務環境のフレックス化とも相まって様々な部門の仕事の効率化が進みました。



IXホールディングス(株)

IXデジタル(株)

こうした実績を背景に、IXホールディングスのデジタル推進チームは、2024年10月を以て「IXデジタル(株)」としてスピノフ(分社)しました。今後は、地方だから情報もリソースも遅れていて仕方ないという認識ではなく、地方だからこそ追求できるフロンティアがあるという思いで、グループ内に限らず地域全体でデジタル時代の新たな次元へ向かっていけるよう、日々努力してまいります。



経営者のためのセミナーで講演

■経営者のためのセミナーで経営革新の事例報告

2023年11月28日、グループ代表の浜田吉司が地元TV局が主催する経営者のためのセミナー「経営の打ち手カンファレンス〜デジタル時代の経営戦略〜」に登壇して、経営革新の事例報告をしました。経営理念の確立と実践、自律分権経営への移行、グループを挙げて取組んでいる地域イノベーション(事業会社各社による小文字のイノベーションの実践)、そして経済産業省からも高く評価されたグループのDXの進捗状況などについて講演しました。

なお、浜田は2024年3月からクロスアポイントメント制度による実務家教員として三重大学地域創造教育センター教授に任用され、地域の将来を担うべき若者のアントレプレナーシップ教育にも携わっています。



IXホールディングス(株)



中間成果発表会

■エムケイの新規事業 福祉用具の開発協力と販売展開



「リフティ・ビーヴォ」のデモンストレーション

県内事業者と県外のベンチャー企業等とのオープンイノベーション(事業共創)を支援する、三重県主催の「TOKOWAKA-MIEオープンイノベーション」事業にエムケイが採択され、四日市市で2024年3月に開催された中間成果発表会にエムケイ代表の平林勇二が登壇しました。共創の相手企業は、東京大学で研究員を務めた上田剛慈社長が経営するエナジーフロント社(本社:岡山)。同社は物理学の知見を活かして介護現場の悩みであるヘルパーの腰痛予防につながる革新的な福祉用具「リフティ・ビーヴォ」を開発し、エムケイとタッグを組んで実証実験やテストマーケティングを実施してきました。今後は「リフティ・ビーヴォ」をエムケイが販売代理店となって全国へ普及を図る一方、介護現場の様々な未解決の課題に対しても両社のリソースを用いて新製品開発等により解決を図っていきたく考えています。



(株)エムケイ・コーポレーション



「しおのすけ&シャルロット」も活躍中!

■『おにぎりせんべい』のセカンドフレーバー、『銀しやり』の人气がさらに上昇中!

発売から12年目を迎え、シリーズ年間売上が節目となる5億円を超えてさらに成長中の『おにぎりせんべい・銀しやり』。その魅力をもっと広めたい!という思いで、マサヤでは様々な活動を進めています。2023年にはマスコットキャラクターである「しおのすけ&シャルロット」が誕生し、『銀しやり』の公式SNS(TikTok・Instagram)も開設するなど、PR活動を本格的にスタートさせました。デザイン室メンバー手作りの「しおのすけとシャルロットのぬいぐるみ」は、Instagramや各地の展示会などで大活躍しています。また、関東地区でポップアップストアを開催したり、『おにぎりせんべい・銀しやり』が大好きなお客様とのインタビューキャンペーンも実施しました。



(株)マサヤ



関東地区でのポップアップストア

■亀田製菓株式会社様との生産に関する協業

マサヤは2023年1月に資本業務提携契約を締結した亀田製菓株式会社様と、生産に関する協業を行っています。直近3年間にマサヤの売上高は年率5%で伸長していますが、それに伴って本社工場の生産能力が上限に近づきつつあり、その生産能力をどう増強するかが重要な課題になっています。米菓のトップメーカーである亀田製菓の生産部門のスタッフの皆さんと定期的に製品の品質安定化や生産性向上のための話し合いを行い、そこで得た知見を踏まえて本社工場で実証テストを行っています。それによって、一部の工程では新たな投資をせずに主力商品の生産速度を10%程度向上することができました。お客様のニーズの高い製品をより安定して、より早く、より多く生産できるように、今後も取り組んでまいります。



(株)マサヤ

■じゃらんnetランキング「泊まって良かった宿大賞2023」で三重県一位を受賞



志摩地中海村が、「じゃらんnetランキング 泊まって良かった宿大賞2023(総合)」の宿泊施設規模 51~100室部門で三重県1位に選ばれました。この賞は、じゃらんnetのユーザーによる年間のクチコミで高い評価ポイントを得た宿泊施設に贈られるものです。大勢のゲストの皆様が高い評価をいただき、心より感謝申し上げます。これからも、志摩地中海村ならではのサービスとおもてなしで皆様により快適で心に残る滞在をご提供できるよう、スタッフ一同さらに努力を重ねてまいります。



(株)志摩地中海村

2 Corporate philosophy

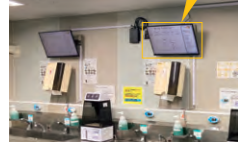
ひとづくり 仕事を通じた人生の幸福を目指して



マサヤ 経営協議会



志摩地中海村 経営方針納得会



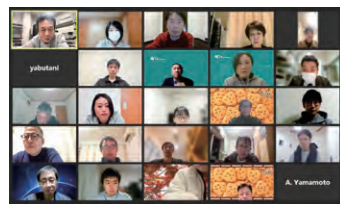
ビジョンチャレンジャーズの活動で導入されたデジタルサイネージ



新人事評価制度の説明会



伊勢萬トレーディング 経営方針納得会



ITパスポート受験 オンライン勉強会



直島にて対話型鑑賞プログラム

■賃金アップ

日本経済がおよそ30年ぶりのインフレ局面となり生活コストが様々な方面で上がる中、グループ経営理念の2「仕事を通じた人生の幸福」を実践する上での最重要テーマとして、グループ各社で賃上げ(ベースアップ)を行っています。各社により率、方式はそれぞれですが、2020年比で概ね3~10%の上げ率となっています。



各社

■自律分権経営へ向けた取組み

経営方針納得会

本年も、期末から期初にかけてグループ各社で経営方針納得会[※]が開催されました。年に一度、各社で従業員が一堂に会して前期の業績や次期の目標、長期的な戦略・方針などを共有する会のことです。日々の通常業務の中では、会社全体やほかの部門が今現在どういった状況なのかを知る機会が少なくながちです。経営の現状を「見える化」「わかる化」して共有し、従業員一人ひとりが自律的に仕事に向き合えるようになるための場です。

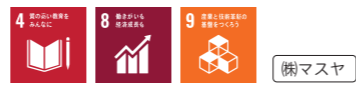
※注)“経営協議会”、“大寄せ”などの呼称にしている事業会社もあります。



各社

ビジョンチャレンジャーズの活動

新しく社長に就任した森紀之の下でマサヤが目指すミッション「みんなが幸せになれる会社をつくりましょう」を推進するチームとして、2023年2月に「ビジョンチャレンジャーズ」が発足しました。様々な部署から集まった若手有志が、マサヤで働く全員に寄り添う形で活動を行っています。1年目は、働く一人ひとりの想いを知るために全員対象のアンケートを行い、そこから浮き彫りになった課題に対して役割分担をして取り組みました。内容は、法令・社会規範に関すること、職場の環境改善、ミッションを広める活動など多岐に渡りました。2年目となる今年、振り返りアンケートを実施したところ、いくつかの項目でポジティブな結果が得られました。やるべきこと、やりたいことはまだまだたくさんありますが、ミッションの実現に向けて地道に取り組んでいきます。



関マサヤ

人事評価制度の改定

マサヤで23年ぶりとなる人事評価制度の改定を行いました。新しい制度のテーマは「理念・ミッションを体現する~自律人として必要な行動や成長を理解し、様々な業務やチャレンジに積極的に取り組める人事制度」です。今回の改定により自律的に行動するための指針をよりはっきり示し、一人ひとりが業務や組織に貢献する姿勢を幅広く評価できる仕組みとなっています。この制度を通して一人ひとりが自分らしさを発揮して社会の役に立てるよう成長していってもらうことを目指しています。



関マサヤ

ミッションの制定と共有

2018年10月に伊勢萬からスピンオフ(分社)して6年。伊勢萬トレーディングは伊勢おはらい町通りに立地する五十鈴川マーケットを本拠に、『プリン鉄人』『まるごと果汁店』など海外フランチャイズを視野にいたした業態開発、生分解プラスチック製品『The Earth Crew』のプロデュースなどに取り組んできました。また、『おにぎりせんべい』や『ハーブムーン』といったグループ製品のASEAN諸国への輸出を手掛け、マサヤ/IXグループの商社事業の基盤を作りました。代表が世代交代したのを機に、その歩みと意味を全員で共有し、今後の提供価値を示すミッションとして「伊勢志摩の魅力を世界に広げる素敵な会社になります」を定めました。伊勢志摩のトランスフォーメーションに寄与できるよう、今後もチャレンジを続けます。



関伊勢萬トレーディング

■研修活動

ITパスポートを集団受験

今や私たちの生活はパソコンやスマホ無しには成り立たないと言える時代になりました。間もなく大学入試にも「情報」科目が加わり、そうした時代の流れは一層加速することでしょう。時代の変化に追われながら生きるのと、進んで使いこなして時代の波に乗って生きていくのでは、人生のあり様が大きく変わってきます。そこで、情報技術(IT)について多くの従業員に学んでもらうきっかけにしようと、「ITパスポート」の資格取得をグループ全員に呼びかけました。会社主催のオンライン勉強会も開催し、受験を支援しました。その結果、グループ全体で、36人が資格を取得することができました(2024年9月末現在)。



全社

モダンアートの聖地、直島で学ぶ

生成AIの登場と普及をきっかけに、「経営とアート」というテーマが注目されています。2024年2月、アートに関心の深いグループ社員有志数名でモダンアートの聖地と言われる香川県の「ベネッセアートサイト直島(BASN)」を訪れ、対話型鑑賞プログラムに参加しました。対話型鑑賞とは、他者との対話を通じて作品の持つ意味を深く味わう手法で、ひとつの作品を観察しながら「どんな風に感じますか」「どこからそう思ったのですか」などの問いかけに答えていくものです。モダンアートの作品解釈は人それぞれに異なります。多様なものの見方や、自分の考え方のクセに気が付くなど、アート鑑賞がもたらす思いもよらない効果を知ることができました。



全社



社内勉強会



日本酒を楽しむ会



グループ合同成人式



防災研修 クロスロードゲーム



従業員大会 運動会



ボウリングチャレンジ



MK(エムケイ) ファミリーデー

日乃本勉強会、衛生教育

夏場の気温上昇とともに食品工場で懸念が高まるのが、作業者の命にも関わる「熱中症」と、製品の品質に関わる「害虫」です。この両事項について知識を共有する為、日乃本では2024年5月、二日間にわたり社内勉強会を実施しました。熱中症対策では「手軽にできる脱水状態診断」として、「手の甲の皮膚を軽くつまみ上げて離れた際に、つまんだ跡が消えるまで3秒以上かかるかどうか」で判断する方法などを学びました。害虫対策では、近年の気候温暖化に伴い害虫の発生が目立つようになっていることから、工場内への侵入経路や発生原因、その対策方法を学びました。今後も社内勉強会を実施し、作業環境の改善、品質管理に努めていきます。



関日乃本米菓製造

日本酒を楽しむ会

2023年10月、日本酒の良さを知りながら学ぶ「日本酒を楽しむ会」がコロナ禍を経て4年ぶりに開催されました。第13回となる今回は「酒造米による味わいや香りの違い」をテーマに、村田光晴社長や船木健司社長の解説を交えながら、11種類の日本酒を美味しい料理と共に飲み比べました。解説付きで飲むお酒は普段より美味しく感じてつい飲みすぎてしまい、正直最後のほうは酔いが回って細かい味の違いが分からなくなりました(笑)。伊勢萬からも『おかげさま』の「純米大吟醸」、「純米吟醸・神の穂」、「特別純米山田錦」の3点が提供され、特に「純米吟醸・神の穂」がフルーティーな味わいで高評価を得ていました。日本酒を楽しむ会は2024年9月にも「対決 三重県VS山形県」をテーマに開催されました。



関伊勢萬

グループ合同成人式

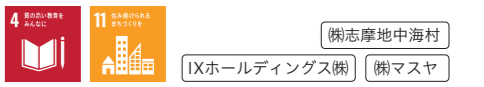
2024年2月9日、マサヤ/IXグループ合同の成人式「20歳を祝う会」が開催されました。浜田吉司代表から、グループ社訓にもなっている一人前になる条件「経済の自立、意思の自律、信用」について、教えられる立場から教える立場になってくださいという講話がありました。同席した役員たちからも「様々なことにチャレンジできる20代。挑戦を通して学ぶことを大切に」と話がありました。新成人の4名からも「20歳になり、周りの人からの見られ方も変わる。意識して行動していきたい」「一年ごとにできることを増やして着実に成長していきたい」「先輩方に感謝しつつ、教えていただいたことを後輩に伝えられるようにしたい」など心強い言葉がありました。



全社

防災研修(クロスロードゲーム)実施

2024年は1月の能登、8月の日向灘など大きな地震が続き、南海トラフ地震に対する防災意識が高まりました。志摩地中海村では、志摩市防災危機管理室の担当者を講師として招き、従業員対象にクロスロードゲームを実施しました。クロスロードゲームとは、ゲーム形式で災害時に発生する様々な局面ごとに自分ならどのような行動や判断をするかをグループワークで考えていく研修です。どのような行動が正しいのか、立場や環境によって答えは一つではなく、また人それぞれ様々な考え方がある事を知る事ができました。IXホールディングスとマサヤでも伊勢市危機管理部より防災アドバイザーを派遣いただき、南海トラフ地震の予測や対策についてお話いただいたほか、同様にクロスロードゲームを実施しました。



関志摩地中海村

IXホールディングス(株) 関マサヤ

■レクリエーション活動

第14回 従業員大会 運動会

2024年9月27日、マサヤ/IXグループの全従業員を対象とした従業員大会が開催されました。今回は三重県営サンアリーナのサブアリーナを会場に、会社や部署に関係なく引きでランダムに振り分けられた16チームの対抗形式でオリジナル競技も盛り込んだ運動会を行いました。お子さんやお孫さんの参加も歓迎し、多くのご家族に参加していただき楽しく賑やかな会になりました。日頃は他のグループ会社でどのような人がどのような思いで仕事をしているかが見えにくいものですが、年に一度のこのような機会を通じて、あまり接点のなかったグループの仲間への親近感が深まり、グループとしての連帯と将来に向けたパワーを育むことができました。



全社

健康経営の取組み「ボウリングチャレンジ」

マサヤ/IXグループでは「健康経営」を推進しています。その一環として、グループ従業員なら期間中だれでもエントリーできる「ボウリングチャレンジ」を実施しました。職場ごと、あるいは気の合った仲間ごとにボウリング場で楽しくプレイし、各自の最高得点ゲームのスコアを事務局に報告してランクを競う形式です。腕に覚えのある49名がエントリー、「部署のメンバーとのよい懇親の場になった」「久しぶりのボウリングで筋肉痛になったが、リフレッシュできた」などの感想が寄せられました。ちなみに優勝者のスコアは246点でした!



全社

3 Corporate philosophy

地域づくり 地域社会の豊かさづくりに向けて



IXコミュニティ



プラスチックフィッシング in 三瀬谷ダム



マサヤ工場に設置した太陽光パネル



新規導入した脱水機



みえ応援ポケモンとのコラボ商品の様子



みえ応援ポケモンとのコラボ商品の様子



手作りの温かいお弁当

IXコミュニティの活動

IXグループでは、「地域社会の豊かさづくりに貢献する」の経営理念に基づき、グループが持つリソースや地域でのネットワークを活かして伊勢志摩地域の未来のためにできることをしようという思いで、2023年10月に「IXコミュニティ」を発足しました。IXコミュニティではこの一年間、地域の大学生や高校生と産官学の関係者が連携して、伊勢志摩の地域課題の解決につながるソーシャルビジネスの実践に取り組まれました。具体的には、農業班、福祉班、観光班、マルシェ班、ワインぶどう班の5つです。自ら活動することで社会を良いものに変えていくというマインドを持って、伊勢志摩での就職や起業を通して地域で活躍してもらえる人材の育成につなげたいと考えています。IXコミュニティから生まれるソーシャルビジネスが、伊勢志摩にトランスフォーメーションを起こせるよう若者たちと本気で取り組んでいます！

高校生の企画による「プラスチックフィッシング」 in 三瀬谷ダム

IXホールディングスでは、2023年12月17日、三重県立宇治山田商業高校の生徒たちと共に「プラスチックフィッシング in 三瀬谷ダム」を開催しました。伊勢湾に注ぐ一級河川である「宮川」は国土交通省「水質が最も良好な河川」に何度も選ばれ清流日本一を誇りましたが、近年は選出から漏れているという悲しい事実を知り、高校生たちと共に宮川の上流にある三瀬谷ダム湖を視察して対策を考えました。通常のごみ拾い活動の呼びかけでは多くの人たちに関心を持ってもらいにくいと考え、ゲーム感覚で楽しみながらゴミ拾いができるオランダ・アムステルダム発祥の「プラスチックフィッシング」の仕組みを取入れ、地元事業者等のご協力も得て開催が実現しました。

SDGsに関する取組み

マサヤでは、2022年より焼成釜の暖機運転時間を削減することによりエネルギー量を大幅に削減しました。また、2023年より工場建屋上部に太陽光パネルを設置して発電を開始し、これまでおよそ一年半の稼働で総発電量575MWh (CO₂削減量273t)となりました。さらに、2023年より井戸の捨て水や設備への打ち水を見直すことにより年間60,000tを超える使用水の削減が可能となりました。ほかにも、商品切替えの際にフィルム使用量を抑える、段ボールサイズを縮小する、使用枚数を減らす、などの取組みに着手しており、資材使用量の削減と物流効率の向上に成果を上げています。生産活動の様々な分野で地球環境保護のための配慮を行い、SDGs (Sustainable Development Goals) の実現に取り組めます。

廃棄物処理の見直し

伊勢萬では2021年からウイスキーの製造をスタートしましたが、今年度は廃棄物処理の見直しに着手しました。ウイスキー製造時に発生する麦芽粕を新規導入した脱水機で処理をし、これまでは産業廃棄物となっていたものを飼料化することができました。年換算で約17tの廃棄物の削減となっています。

みえ応援ポケモンとのコラボ『ミジュマルのおにぎりせんべい』が大好評！

三重県と株式会社ポケモンが連携した「三重県×ミジュマル」の取組みに賛同し、みえ応援ポケモン「ミジュマル」とのコラボ商品『ミジュマルのおにぎりせんべい 銀しゃり・三重のりしお風味』を2024年3月10日より県内各所にて販売開始しました。発売当初から大好評により品薄状態が続き、間接部門からも応援職員して増産するなどうれしい悲鳴となりました。商品を通じて、三重県とポケモンの魅力を同時に発信し、ポケモンファンの皆様をはじめ多くの皆様に、三重県のよさを発見・体感していただきたいと考えております。

手作りの温かい食事を伊勢の子どもたちにお届け

エムケイは、2023年10月より伊勢市社会福祉協議会が運営する生活困窮家庭の子どもたちへお弁当を提供する「Kitchen Project」に参画しています。近年、17歳以下の概ね9人に1人が生活困窮状態にあるとされ、子どもの貧困が全国的な社会問題になっています(2021年国民生活基礎調査より)。エムケイが本社を構える三重県伊勢市でもコロナ禍以降困窮家庭が増加しており、この現状を目の当たりにして「Kitchen Project」への参画を決めました。今後も伊勢の未来を担う子ども達への支援を続けて参ります。



IXホールディングス(株)

各社



IXホールディングス(株)



(株)マサヤ



(株)伊勢萬



(株)マサヤ

(株)伊勢萬トレーディング



(株)エムケイ・コーポレーション



利用者様手作りのどら焼き



AMIGO Marche



志摩地中海村オリジナルシャンプー



ハーフムーン・香酸ゆず酎



初穂曳 陸曳



海女さんとダイビングを楽しむ「海女漁体験プラン」



南勢就労支援センター様との連携

どら焼き販売イベント

2023年11月、エムケイが運営する『ポピーデイサービスセンター TSUNAGARI』で、ご利用者様手作りの「どら焼き」をイベント販売しました。同センターではご利用者様の「○○が好き、○○がしたい」という想いに寄り添ったサポートを重視しており、中でも「食のレクリエーション(食レク)」に力を入れています。食レクでは元和菓子職人の職員の指導による本格的な「和菓子作り」や「パン作り」等を実施してきましたが、今回そうした経験を活かしながら、地域の皆様と交流を持てる開かれたデイサービスセンターにもしていきたいと思いますという想いで開催しました。

AMIGO Marcheを定期開催

志摩地中海村では行楽シーズンの週末に、地元伊勢志摩の皆様が運営するフルーツ館やバーガー等のフード店や、アクセサリーやお花などの販売、ハンドマッサージなどのお店など10店舗あまりに出店していただき、村内でマルシェイベント『AMIGO Marche』を開催しています。遠来の観光客の方々だけでなく地元の皆様にも楽しんでいただけるように、地元市町の住民の方には入村料を無料にするなどの制度も設けました。単なる観光施設ではなく地域における交流広場にもなることを目指して、今後も年に数回の頻度で開催していきます。

志摩地中海村では地元の特産品開発にも力を入れています。『志摩産オリーブオイル』は、志摩市が地域振興の一環として10年前から栽培を開始した志摩産オリーブの実を一粒一粒手摘みして作りました。令和5年産のオイルは苦味が少なくフルーティーでナッツの様な味わいの仕上がりになった自信作です。『志摩産アカモクエキス入りオリジナルシャンプー』は、地域で収穫される海藻アカモクの加工場で作業している女性達が手荒れをしないことに注目して5年前から研究をした結果、アカモクに多く含まれるネバネバ成分「フコイダン」が髪にハリ・コシを与え頭皮や毛髪に健康に有効とわかったため商品開発に至りました。これらの製品は、村内のセレクトショップおよびオンラインショップにて販売しています。

プロジェクト開始から14年、大台町の柚子が世界に進出

2010年4月に、三重大学大学院、三重県大台町、伊勢萬の産学官協働による「柚子プロジェクト」が始まりました。伊勢萬の人気リキュール『ハーフムーン・ゆず』に使用する予定でしたが、当初は柚子の収穫量が少なく安定しなかったためできませんでした。その後、伊勢萬トレーディングが『ハーフムーン』の海外輸出を強化し、現在では日本での売上よりも海外での売上の方が多くなる程に成長しました。一方、柚子プロジェクトはその後も産学官で協調しながらいくつもの課題をクリアし、量・質ともにレベルアップが図られました。そして、実に14年の年月を経て2024年から海外向けを含む『ハーフムーン・ゆず』の原料に大台町産柚子を使用することができるようになりました。14年前に思い描いた「大台町の柚子を世界へ」の夢が実現しました。

神嘗祭「初穂曳」への参加

伊勢では、毎年10月15日、16日に「初穂曳」が行われます。これは、神宮の神嘗祭をお祝いし、その年のお米の稔りに感謝して、お初穂を神宮に奉納する行事です。マサヤ/IXグループでは2003年から職域参加させていただいており、今ではグループの恒例行事の一つになっています。コロナ期間中は規模を縮小して実施されてきましたが、2024年はコロナ禍前の規模に復活しました。地域の皆様と共に伊勢の伝統文化を継承していくため、グループとしてその役割の一端を担っていきたくと考えています。

海女さんとダイビングを楽しむ「海女漁体験プラン」、今年も好評

伊勢志摩の本物の海女さんとダイビングを楽しむ「海女漁体験プラン」を、今年もたくさんの方々に体験して頂きました。今年の参加者は約200名、うち80%が外国人観光客でした。この体験プランを通じて、これからも多くの方々にこの地域独特の海女漁の歴史や文化を知ってもらい、この地域の魅力を感じてもらえればと考えています。

映画のロケ地になりました

グループの施設が映画のロケ地として使用されました。オレンジの五十鈴川テラスは、映画「親のお金は誰のもの～法定相続人～」でダブル主演の三浦翔平と比嘉愛未が対峙するという重要なシーンで使われました。また、志摩地中海村は映画「トリリオンゲーム」で海外の街並みという設定で撮影され、外国人の通行人エキストラも多数参加して外国の風景そのものでした。本物づくりに通じる志摩地中海村の街並みに改めて自信を持ちました。これらの映画が公開されて、映画のロケ地として伊勢志摩の新しい魅力ポイントになればと思います。

南勢就労支援センター様との連携

マサヤは、2022年5月より、地元の指定就労継続支援事業所B型施設である南勢就労支援センター様に一部商品の梱包業務をお願いしております。1名の支援者と7名の障がい者の方に週3～5回会社に来てもらい、袋詰めされた商品を箱詰める作業に従事して頂いています。2024年には地元三重県で販売する土産品の新製品の箱詰め作業も始まりましたが、その際も「箱詰める袋デザインを色で見分けやすくする」「印字スペースを大きく取る」などして、障がい者の方による作業がしやすいようなデザイン上の配慮をしました。地元をテーマにした製品の製造に携わることは作業者の皆様にも社会貢献を実感してもらいやすく、働くことに対するモチベーションにつながっているとの感想をいただきました。

株式会社 マスヤ



おにぎりせんべい



おにぎりせんべい
銀しゃり



ピケイト



おにぎり BOX



ミニおにぎり



おにぎりせんべい
ファミリーパック



おにぎりせんべい
銀しゃり ファミリーパック



おにぎりせんべい
ひなまつりパック



おにぎりせんべい
クリスマスパック



Supported by **ポケモンおにぎりせんべい**
 © Pokémon. © Nintendo/ Creatures Inc./ GAME FREAK Inc.
 ポケットモンスター - ポケモン Pokémoji Pokémon は任天堂の登録商標です。
 ミジマルのおにぎりせんべい銀しゃり
 三重のりしお風味

株式会社 日乃本米菓製造



杵もち揚
しょうゆ味



杵もち揚
しお味



大鬼しみる
げんこつ



味三彩 ※



こがし餅 ※



カリッと塩おかし ※

※通販限定品

株式会社 伊勢萬



光年シリーズ



ハーフムーンシリーズ



クラフトジン
伊勢神



ブレンドウイスキー
神路



ピュアモルトウイスキー
神路



おかげさま
純米大吟醸



おかげさま
にごり梅

株式会社 伊勢萬トレーディング



漁師あられ
いか・えびしお・あおさのり



漁師あられ
大漁デラックス
(小箱・大箱)



えびしおせんべい



みたらし花子



イセ野カツオ



伊勢プリン
(なめらか・レアチーズ)

IXホールディングス株式会社
(旧社名: 株式会社マスヤグループ本社)

〒519-0502 三重県伊勢市小俣町相合1306

